

お知らせ

Information

シリーズ 消費生活相談⑧① 「学習塾の契約トラブル」に関する相談

◇事例 (40代男性)

学習塾から「生徒3対先生1の個別指導」と説明を受けて入塾し、月謝6万円と年間教科登録料10万円、施設設備費3万円を支払った。しかし、実態は生徒10対先生1で、対応も悪いため、退塾を申し出た。規約には5日までの退塾申出で翌月末の退会になるとあるが、翌月分まで月謝を支払わなければならないか。

特定商取引法「特定継続的役務提供」に該当し、クーリング・オフを主張できるため、月謝について今後の支払いをしない旨の書面を送るよう助言しました。今回、相談者は返還を求めませんでしたでしたが、支払済み代金の返還を求めることもできることを説明しました。

学習塾の契約金額が5万円を超え、かつ契約期間が2カ月を超える場合「特定継続的役務提供」に該当し、契約書面を受け取った日を含めて8日間はクーリング・オフできます。もし、期間が過ぎ、指導が始まっても、2万円または1カ月の授業料相当額のいずれか低い額を解約料として支払えば、中途解約ができます。

◎ 消費生活相談 (無料) を行います。ご利用ください。

■日 時 4月12日(水)(毎月第2水曜日)
午前10時～正午、午後1時～午後4時

■場 所 役場2階相談室201

■問い合わせ先 産業観光課商工労政係 ☎(48)1111 (内1226・1227)

◎ 知多半田消費生活センターでも消費生活相談を行っています。

■日 時 月曜日～金曜日(祝日、クラシティ半田閉館日を除く)
午前9時30分～午後4時30分

■場 所 クラシティ半田(3階市民交流センター内)

■問い合わせ先 知多半田消費生活センター ☎(32)2444

成年後見制度巡回相談

4月6日(木)

場 所 中央公民館308号室

時 間 午後1時30分～午後4時30分

NPO法人知多地域成年後見センターでは、成年後見制度巡回相談(事前に予約が必要)を毎月行っています。

■問い合わせ先

半田後見事務所(半田市福祉文化会館内)

☎(21)0811

4月の相談

■人権・行政・心配ごと相談

6日(木)、20日(木)

場 所 中央公民館308号室

時 間 午前9時30分～午前11時30分

※ 電話での相談も受け付けます。

■無料法律相談(事前に予約が必要)

20日(木)

場 所 役場1階相談室101

時 間 午後1時～午後4時

■問い合わせ先

住民福祉課 ☎(48)1111 (内1122)

“見えない、見えにくい” 子どもの教育相談を実施

見え方が気になる子どもの教育相談を実施しています。また、視覚障がいが見える社会人の相談も受け付けています。

■相談内容

「子どもの見え方や色の見え方が気になる」「黒板や教科書などの文字が見にくいように思う」「視覚障がい者の就学先や進路、就職先について相談したい」など

問い合わせ先

県立名古屋盲学校

☎052(711)0009

工場新設などの届出 先が変わります

工場立地法の一部が改正され、4月1日より届出の対象となる工場の新設や届出内容の変更などを行う場合は、阿久比町(窓口は産

業観光課)に届出することになります。特に新設と変更については、着工前に届出が必要ですので、必ず事前に相談してください。

■届出の対象工場(=特定工場)

【業種】①製造業、②電気供給業、③ガス供給業、④熱供給業(水力・地熱・太陽光発電所を除く)

【規模】敷地面積9,000平方メートル以上または建築面積3,000平方メートル以上

■届出の種類

新設届、変更届、氏名等変更届、承継届、廃止届

届出・問い合わせ先

産業観光課商工労政係

☎(48)1111 (内1226・1227)

カラスの巣作りによる 停電防止にご協力を

例年2月中旬～6月上旬の間、カラスの巣作りが活発になりま

す。電柱や鉄塔にカラスの巣を発見した場合は、お近くの中部電力までご連絡ください。

また、カラスの巣には、金属製ハンガーや針金などの電気を通す材料が使われています。これらが電線に接触すると、停電が発生することがあります。ハンガーなどを屋外に放置しないようにご協力をお願いします。

連絡・問い合わせ先

中部電力(株)半田営業所

☎0120(985)740

編集後記

お祝い給食会で、「給食は毎日おいしかった」と笑顔で話す生徒たち。給食はおいしい上、毎日温かく、栄養バランスもバッチリ。中学校時代、お弁当だった私にとってはうらやましい限りです。「中学校も給食だったらね…」と嘆く母の手作り弁当はありがたかったですが、お弁当の中身が寄るのは日常茶飯事。鞆の中で煮物の汁がこぼれる、彩りが全体的に茶色っぽい、夕飯と次の日の朝食に出たおかずが再びお弁当に現われるなど、給食だったら、なかったであろう苦い思い出ができた3年間でした。卒業生の皆さんには、阿久比町給食の良き思い出を胸に、4月から始まる新生活でもがんばってほしいと思います。